

生活単元学習指導案

指導者 T1高 阪 英 徳 T2島 あずさ

日 時 令和5年11月18日(土) 第1校時(9:00~9:45)

年 組 小学校特別支援学級 中学年(3年生1名, 4年生2名)

場 所 合同教室

単 元 クラス発表会ーむしたちのうんどうかいをしようー

本学級の児童は、この3名で同じ学級で過ごすことが2回目となる。1回目は低学年段階であり、その頃からの生活が土台となって、一緒に学習したり、生活したりする中で、お互いの関係性は構築されてきている。自分のやりたいことがあると、そのことに集中して1人で過ごす様子と、学級で過ごすことで、休憩時間の遊びに「一緒に遊ぼう」と誘ったり、困っている人がいると「大丈夫?」と言葉をかけたり、友だちが活動していると「がんばれ」と応援したりなど、個々が他者を意識することができるようになる様子を見ることができるようになっている。中学年段階で育む他者意識は、今後の高学年段階におけるリーダーとしての役割を果たすことや上級生として下級生と一緒に過ごすなどの姿につながるため、さらに広げていきたい。このようなことから、同じメンバーで行うクラス発表会の劇は2回目となるが、3年生は3回目、4年生は4回目と、毎年取り組んでいる活動は経験としてイメージがあることや仲間意識を深めることができる重要な取り組みとなる。児童にとってクラス発表会の劇づくりは、過去の思い出や経験が積み上げられ、「今年の劇は何かな」と考えたり、「この役がやりたいな」と自己主張したりするなど、児童の思いを引き出したり、経験の幅を広げたりすることが可能になってくると考えている。中学年段階として、低学年段階までの経験を元に取り組み、今後の高学年として主体的な姿につなげていくために、個々の力を発揮して取り組んでほしいと考えている。

本単元は、クラス発表会に向けた劇づくりの取り組みである。劇で扱う絵本を「むしたちのうんどうかい」とした。児童の中に、虫が好きな児童が1名いる。その児童の影響で別の児童は、苦手意識はあるもののバツヤやカマキリ、カブトムシを見たり、触ったりする姿がある。もう1名の児童は、興味関心はあまりないが、見たり、触ったりできる。このように虫に対する興味関心は様々であるが、春から教室の中で飼育した虫は、バツヤ、トカゲ、ザリガニ、クワガタ、カブトムシ、カマキリなどである。季節に応じて様々な虫に触れてきた。これらの虫が絵本の中にも登場してくることから、虫に対するイメージをもち、劇の中で関連づけて、役を演じることにつながるのではないかと考えた。また、絵本の中に登場する虫を写真や映像などで見ることで、虫のことを知り、生き物の世界を広げることができると思う。さらには、毎年5月に運動会に参加していることから、「むしたちのうんどうかい」の中で行われる競技や出来事がわかり、イメージをもって場面ごとの内容に取り組みめると考えた。

指導にあたっては、自分自身のがんばりどころや楽しんで演じたい場面、お客さんに見てほしいところなど、クラス発表会の本番で、児童が思いや願いをもって取り組むことができるようにしたい。そのためには、自分の役が何で、その虫の特徴についてイメージをもつことができるようにしていく。さらに、絵本の内容を理解し、自分の出どころで何をやるのかがわかり、それをどんなふう演じるのか自分で自己決定していくことで、児童なりの表現方法を引き出していくことが重要だと考える。児童が1つの事柄を決定する場面では、なぜそれを選んだのか、理由を言葉で言えるようにしたい。

単元の目標

- 1 虫の名前や絵本の内容や虫の名前がわかり、場面ごとの演出や虫の特徴を理解して、劇を演じることができる。
- 2 自分の出どころがわかって行動したり、友だちとのセリフの掛け合いの中で自分のセリフを言ったりして、自分の役を表現することができる。
- 3 劇の内容や場面の状況がわかり、自分の見せ場を意識して、意欲的に役を演じることができる。

「教科等本来の魅力に迫るための教師の資質能力」との関連

具体的な児童の姿
<ul style="list-style-type: none"> ・自分のがんばりを実感したり，他者から評価されたりすることで，自信や達成感をもつことができる。 ・劇で虫と関連する活動を通して，虫に興味関心をもったり，広げたりしつつ，虫の種類や特徴などの違いがわかり，特徴を真似してポーズを取ったり，言葉で特徴を伝えたりすることができる。 ・運動会のことを虫で演じることで，自分の経験をもとに具体的なイメージをもち，どのように演じるかを考えたり，進んで取り組んだりすることができる。 ・絵本に登場する虫の名前を，ひらがなと片仮名に区別して書くことができる。また，絵本の内容の出来事がわかることと，そこで使われている漢字を，適切に書くことができる。
手立て【関連する教師の資質能力】
<p>○自分の見せ場を考え，自分なりに表現することで，友だちや家族が見ている前で劇をすることに期待感をもち，また，それを他者からの評価をしてもらうことで，がんばった自分を実感し，劇の取り組みに対する達成感をもつことができるようにする。 【授業構想力・意欲を育てる工夫】</p> <p>○自分の出どころでの言葉や動きを考えたり，選択したりして，自分なりの表現方法で，演じることができるようにする。 【授業実践力・主体的活動を促す手立て】</p> <p>○児童が自分の経験をもとした事柄を絵本と関連付けることで，絵本の内容や場面ごとの演出を具体的にイメージできるようにし，言葉や動きで表現できるようにする。 【授業実践力・課題解決に向けた思考力，判断力，表現力等を育む指導】</p>

指導計画

全 20 時間

- 第 1 次 劇の練習 16 時間
 虫の動きをやってみよう (6) 場面ごとの練習 (6)・見せ場を考えよう (3)・劇の練習 (5)
 リハーサル (1)
- 第 2 次 クラス発表会 3 時間
 オープニング・養低の劇・養中の劇・養高の劇
- 第 3 次 ふりかえり 1 時間

本時の目標

劇が楽しみになったり，自分の出どころでがんばろうとしたりする気持ちをもつことができるように，登場シーンでやることのイメージをもち，虫の特徴を意識したセリフを言ったり，動いたり，ポーズをとったりして演じることができる。

個別の目標

児童	実 態	目 標 行 動
⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・虫のことは苦手意識があるが，教室にいる虫のことは気になり，虫かごの中を観察したり，時々触ったりする。 ・過去の出来事を問いと関連付けて発言することは苦手であるが，同じ問いを続けることで，適切に答えることがある。 	○かけっこ場面で，何を言うのか，どう演じるのかがわかり，虫と関連付けて演じることができる
⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・虫のことが大好きで，さまざまな虫を観察したり，触ったりする。クワガタやザリガニに挟まれることで，触り方を工夫するという変化が見ることができる。 ・虫の名前を覚え，片仮名で書くことに取り組んでいる。虫の名前と絵本の中で出来事を関連付けて，答えることができるようになってきている。 	○かけっこ場面で，かけっこ場面での「やる気」を表現する言葉や動きを考え，虫と関連付けて演じることができる
⑧	<ul style="list-style-type: none"> ・虫に対する興味関心はあまり高くないが，触ったり，持ったりすることができるようになってきている。本物の虫を見る経験があまりないが，名前や特徴の認識は実際に見た虫から認識を深めている。 ・これまでの経験から，クラス発表会までの見通しをもち，自分の思いや考えを発言することができる。 	○かけっこ場面での「やる気」を表現する言葉や動きを考え，自分のイメージした姿で演じることができる

学習の展開

学習活動	目標行動 (○) および支援 (・)		
	⑥	⑦	⑧
<p>1 始めのあいさつをし、学習の見通しをもつ</p> <p>①虫のうごきをやってみよう</p> <p>②虫でかけっこをやる</p> <p>③昆虫太極拳</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を始めるためのあいさつを、児童に促す ・本時の学習について確認することで、自分の役や前時でやった場面のセリフや動きを思い出すことができるようにする ・劇の練習の最後には、閉会式で扱うダンスを踊ることを伝えることで、意欲的に学習に取り組むことができるようにする 		
<p>2 かけっこをする前のやる気を表現する言葉と動きや表情を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・負けないぞ ・絶対に一番になるぞ ・ポーズ (握りこぶしなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・台本のセリフを読み合わせることで、セリフを覚えたり、劇の内容をイメージしたりすることができるようにする ・その場面に応じた言葉や動き、表情を確認していくことで、かけっこ場面のイメージをもつことができるようにしていく 		
<p>3 虫をイメージしてかけっこをやってみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このシーンでは、○○のように動いてみよう ・虫のポーズを、こんなふうにやってみよう ・やる気のある顔はこんなふうにするよ 	<ul style="list-style-type: none"> ○かけっこ場面で、何を言うのか、どのように演じるのかがわかり、虫と関連付けて演じることができる ・言葉や動きをどのようにするのか、視覚的にわかるようにすることで、言葉や動きを言ったり、動いたりすることができる ・友だちが演じているところを見るよう事前に促す 	<ul style="list-style-type: none"> ○かけっこ場面で、「やる気」を表現する言葉や動きを考え、虫と関連付けて演じることができる ・言葉や動きをどのようにするのか、視覚的にわかるようにすることで、言葉や動きを言ったり、動いたりすることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の出どころで、どのように演じるのか考えたり、工夫したりすることができる ・言葉や動きを確認することで、虫の動きを意識しながら、言葉を言ったり、動いたりすることができるようにする ・友だちのよいところを見つけたら、よりよい演技について考えることができるようにする
<p>4 ふりかえりをする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の演技がイメージできない場合には、必要に応じて友だちが演じることで、自分の演技のヒントになったり、真似をしたりすることができるようにする 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の行動を動画で見ることで、よいところや改善するところがわかるようにする ・友だちがやっているところを見るように促し、気づきを言うことができるようにする ・児童のよい発言や行動については、適宜取り上げ、肯定的な言葉がけを行う ・閉会式で踊るダンスを踊ることで、劇の終わりのエンディングがダンスで締めくくられることをイメージすることができるようにする 		
<p>5 終わりのあいさつをする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子について、個々の具体的ながんばりを取り上げ、賞賛の言葉がけをすることで、劇をすることの期待感をもつことができるようにする ・学習の終わりを意識できるよう、あいさつをする 		